

## 日吉津村自治基本条例策定委員会（第6回）議事録

日時：12月6日（木）午後7時30分～9時30分

場所：役場第1、2会議室、第3会議室、委員会室

出席者 田中委員長、長谷川委員、松岡委員、住田委員、西委員、三島委員、  
建部委員、破戸委員、田邊委員、高森委員、川原委員、奥田委員、成  
瀬委員、井上委員、池田委員

欠席者 山路副委員長、山崎副委員長、河中委員、土井委員、松本委員

**事務局** 前田課長、高田課長補佐、福井主査、矢野係長

### 委員長あいさつ

- ・視察（兵庫県朝来市生野）に参加者が少なく残念だったが、とても良い勉強になった。
- ・今後の条例制定に向け活発な意見も出て、いろいろ意見交換ができた。

### 協議

#### （事務局）

- ・資料に基づき視察研修の報告。
- ・広報1月号に掲載するため、本日、委員長と村長の対談を行なった。  
視察に行かれた委員の感想
- ・文化を大切にしていると感じた。昔から外国人が多くいたとのことで、雰囲気も違っていった。
- ・公募の仕方について、ダイレクトメールなどを用いていたので、このような工夫が大切だと感じた。また、行政のみなさんが地域に帰って溶け込んだ活動をされていた。
- ・歴史を大切に守っており、まちづくりを活かしていた。また、公募に手を挙げる人がたくさんいた。地域の横のつながりが強いのではないかと感じた。
- ・なるべく職員は手を出さなということ。職員が何でもかんでもやってしまうと住民は参画ではなく参加になってしまう。
- ・町の中は整備されているが、少し寂しさを感じたし、落ち着いた雰囲気。若い人達が古いものを大切にしている。

### 自治基本条例の内容の検討について

#### グループ討議

検討資料（各委員意見集約）について

#### グループ1

- ・本日の村長対談で、職員は住民の黒子になる（徹する）。村長の方針は住民意見の最大公約数と言っておられた。

- ・ 村長は特色を出してもらいたい。
- ・ 日吉津の特色を出したい。政策に順位付けが必要。財政状況が悪いときこそ、人材育成（将来への投資）が大切である。総合計画のキャッチフレーズの……夢はぐくむ村づくりについて、漠然としていて、どうすればよいかわからない。
- ・ 文化が大切だと思う。日吉津はどうか？ 子どもが将来戻ってきたいところか 文化芸術面で、文化の香りのする村かどうか。日吉津は暖かみはあると思うが、+ が加われば、もっと魅力ができる。
- ・ 文化について、若い人の関心が少ないと思う。公民館の活動グループに入らない。どうすれば若い人の参加を促せるか。
- ・ 組織に所属しなくても、情報は入手できる時代になった。
- ・ 青年団も同じこと。
- ・ 参加促進には、きっかけ、必要性の有無、魅力、メリットが必要。文化的に優れた人材は、村内にたくさんいる。ガラスの大谷さん、彫刻の井田さん、木彫りの成瀬さん、絵画の中野さん。
- ・ 書道の松岡さんもいる。少ない人口の中でもこれだけ多くの人材がいる。人材の活用を図らなければ、もったいない。
- ・ 日吉津はハード面での整備が進んでいると思う。自然・景観にも恵まれている。
- ・ 若い人の参加促進が大切。この委員会の委員にも 20 代の人が少ない。参加促進には、参加者が自ら楽しみながら参加することがよいのでは。「なまはげの会」ように参加者が楽しんでいるような会が増えたら。
- ・ 施設面でも整備が進んでおり、海浜運動公園や水辺の楽校もある。活用しなければもったいない。
- ・ 土地改良区の事業である地域用水事業は、村内の環境整備に大いに役立ったと思う。各自治会単位に花壇などの施設も住民の力で完成させた。特に樽屋の鯉はよかったが、コイヘルペスにやられた。鯉に代わる何かいいものがないか。観光地として定着しかけていたし、地域のひとのかかわりが活発になっていたのに残念だ。
- ・ 10 年間死亡事故 0 の村、交通安全対策が図られている。安全安心の村だ。
- ・ 水辺の楽校にも自転車で安心していける。
- ・ こういう施設を知らない村民も多いのではないかと。PR 不足か？。
- ・ キャンプ場はグレードが高いが、使用料が高いと思う。
- ・ バンガローは年中利用があり、夏休みの週末は 3 ヶ月前の予約開始初日に予約が殺到する。24 時間リレーマラソンが開催されてから、利用者が増加した。利用してみないと施設の善し悪しが分からないと思うので、この会の打ち上げをキャンプ場で行ってはどうか。

## グループ 2

- ・生野でも前文に力を入れてあった。今回、検討資料（第3回までの意見集約）をもとに前文をもう少し詳しく考えていただく。
- ・職員プロジェクトも前文について話し合っており、前文を各委員として考えてみるということとなった。
- ・日吉津を考えたときに、日吉津が今ある状況というのはどういうことがあって今があるのか。（今日に至る経過）日本パルプを誘致して変えてきたということなので、それは載せておきたいところ。合併をしないで単独でやってきていることが特徴だと思う。
- ・日吉津の大きな特徴を挙げるとすれば、近代においては日本パルプの誘致が大きいと思う。
- ・歴史は大事だと思うが、今の特性というか目線で考えてみると一つは、日吉津のロケーションだと思う。山・川・海があることは特徴的であると思う。また、431号沿いは近代的な街並みとは言わないまでも、ジャスコなどがある反面、富吉の区画整理がされてない路地があって、現代的なものとレトロ感覚のものが融合しているという感じだと思う。
- ・日吉津の紹介をするときに村制要覧などにも出ていると思うが、一般的に地勢的なことや歴史的なこと、産業的なこと、行政全般などそれぞれ分けて考えたほうが、前文を書くことを目的とした場合を考えれば整理しやすいのではないか。日吉津のロケーションを考えれば、自然の面だとか…。
- ・とりあえず挙げられることを挙げていって振り分けたら。
- ・前回色々なことが出たと思うが。
- ・むらを外見的に見た特徴、あるいは村民を簡単に見て目で分かる特徴ではないが、歴史的にかなり遡ってみると日吉津の歴史に開拓精神（進取の気性）がある。古いもの（さいの神など）を大事にする村のこころを持ちながら、新しく進んで取っていくという積極性も村民に強いことなど村の特徴といえるのではないか。
- ・歴史が短いと言われている村にもものすごい歴史、人間ドラマがあるということも見直してみたら。
- ・進取の気性というのは、確かにキーワードとなると思う。
- ・村条例といえば、積極的に企業誘致を進めてきたという表現も良いのではないか。また、公害を含めた広い意味での安全・安心のむらづくりも良いのでは。
- ・自然災害だけではなく防犯的なことが前回も出ていた。
- ・農業などで優れた業績があったことは無いかな。
- ・余り聞かないが、チューリップぐらいか。
- ・何か農業と結びついた、付加価値をつけた商品があれば良いと思うが。また、農業だけではなく、漁業についてはどうか。
- ・せっかくチューリップが知れ渡っているので、それが本当に広がりを持って

ると一番良いと思うが。

- ・これも進取の気性の中に入ると思う。新しいものを見つけてそれに挑戦してきた。今は時代の流れの中で小規模になってきたが。
- ・シンボルマークという意味では、何とかしたいと思うが...
- ・企業、災害、自然、安心・安全、農業、漁業などだいぶ意見が出たが。
- ・進取の気性を持ち続けなければならないということ。
- ・子育てはどうか。村子連やカルチャー少年塾とか他と比べて充実しているのかどうか。そうなら、特徴となると思うが。また、0歳児保育もあるが。
- ・児童館は進んでいると思う。
- ・現時点では、教育に積極的に取り組む姿勢が見られるという一つの特徴が見られる。福祉は？
- ・目が行き届くので、福祉も充実しているとは思いますが。
- ・道路の整備も早くから着手。下水道も。
- ・企業誘致も商業振興も活性化も大歓迎だが、逆に緑豊かな日吉津村も一定限度残していかないといけないと思う。
- ・環境のバランスの取れた開発に留意しないといけない。
- ・日吉津の名の由来はあると思うが、他とは違って重みがあり、将来の人も知るべきものであるので前文として入れることも考えても良いのではないか。(関連で、日吉津の今昔について話し合い)
- ・ブランド化をしようということや魅力を売り出すということになれば、人が集まってくる要素があり、矛盾するかもしれないが安心・安全の面では難しくなるかも。
- ・政策的には安心・安全なまちづくりを考えるとということが必要だと思う。
- ・安全・安心のことでは、子どもたちが安心して過ごせるむらということが大事。高齢者も大事だが、未来を担う子どもたちがすくすく育っていく村。緑地の確保とも関係するが。
- ・むらの成り立ちや歴史を小学校で聞く機会があるのだろうか。条例には間家ないかもしれないが、それは必要だと思うし、聞かせる場があっても良いと思う。

### グループ3

- ・「境港なら鬼太郎ロード」というように、「日吉津といえば」というものがない。日吉津はこれから流行っていく場所で、住宅型の都市になっていくように思う。そういう方向で集約できれば良いと思う。
- ・日吉津のブランドは、近隣のベッドタウン、商業の集積ではないかと思う。精神・理念的なブランドを想像すると何も出てこない。
- ・今では昼の人口が多いようだ。駐在に聞くと、平均で10,000人くらいいるようだ。
- ・「3,000人が何を目標にするのか、それを前文に載せるのだ」と職員のプロ

- ジェクト委員会で話した。「キラリと光る何か」があれば良いと思う。
- ・先ほどのベッドタウンを言い換えれば「快適な住空間」があげられると思う。暮らしやすさを大事にしよう、そして美しい環境づくりをしよう、など。
  - ・何とかチューリップを復活させたい。
  - ・マラソンの実行委員会でなくても、各戸がプランターで協力すればいい。そうすれば復活するのではないか。
  - ・役場も住民もお金を出せばプランターで何とかなる。何か一つシンボルがあれば広がっていくと思う。
  - ・やはり日吉津はチューリップだ。マラソンに参加するため全国からランナーが集まってくる。
  - ・温暖化のためチューリップ栽培が難しくなった。日吉津は狭いので、花づくりは効果大だと思う。「一人一鉢運動」を推進していこう。
  - ・各自治会にマラソンの実行委員がいれば輪が広がる。
  - ・条例の理念や前文が敷居の高いものでは誰も見ないかも・・・。
  - ・言葉は分かりやすく表現しなければいけないし、欲張りすぎもいけない。「中学生が条例を見て日吉津のことが理解できるような内容にした方が良い」と中川先生も言っていた。
  - ・現在、あまりチューリップ栽培をしていないため、前文にチューリップと入れることに抵抗のある人もあると思う。そうであれば「花づくり」と表現することもできる。
  - ・南部町（旧 会見）には柿の形をした外灯がある。日吉津も味気ない外灯ではなく、チューリップでも良いと思う。
  - ・鬼太郎も当初、「妖怪の商店街」ではイメージダウンになると猛反対があったようだが、市長自らが水木氏のファンで奮起し、今のように有名になった。
  - ・北栄町はコナンもあり、上手にPRをしている。
  - ・前文にはアイデンティティや住民の決意みたいなものを入れるのだろう。
  - ・自治の基本には、住民が積極的に関わろうというようなものが盛り込まれるのだろう。
  - ・各委員意見集約P3に住民の責務・住民自治とあるが、ひがみで「あの人はいつも顔を出している」と言う人がある。役員を3期すると「いつまでやっているのだ」というような・・・。行政から「もう1期頼む」と言われてやっているだけなのに・・・。
  - ・住民の責務・住民自治に関心を向け、参加することが大事だとあるのに、長続きしてはいけないのかと考えさせられる。
  - ・自治会役員以外はでしゃばってはいけないというような風潮があるが、上手にでしゃばっていかねばいけないと条例で定めていけばいいと思う。

家風や家訓のようなものを作ればいい。

- ・ 条例は村のルールのようなもので、男女共同参画や子どもの権利、環境は盛り込まなくても良いという話もあるが、日吉津の家訓にするのなら入れた方が良くという意見もある。それはこれから議論していくことになる。
- ・ 男女共同参画は入れておくべきだ。環境も子どもも大事だ。
- ・ 住民の定義に「住民とは・・・」という項目がある。日吉津に住所のある人だけでなく、日吉津に勤務する人も入れるのかどうかも話あわなければならない。「税金を払っていない人も入れるのか」という意見や「ゴミを出したり協力してもらわなければいけないので入れるべき」という意見もある。
- ・ 「今ある条例より自治基本条例の方が上位計画なので、もし日吉津に勤務する人も入れるなら情報公開条例などの内容も見直さなければならない」という話を職員のプロジェクト委員会で話した。また、住民の権利と義務について「住民も参画すべき」と入れるにも賛否両論あり。
- ・ 関係者が住民の背中を2回押すことが大事だと思う。そうすれば誘われた人は必ず来る。背中を押す人を何人作るかというところだ。しかし、やっている人だけ盛り上がっているとと言われても困る。
- ・ 住民の定義には、事業所の人を含めて良いと思う。人生の大半は仕事場で過ごすと言う。税の問題もあるかもしれないが、協賛金という形で事業所も協力しているはず。義務と言われてもピンとこない。義務と聞くと引いてしまう。
- ・ 権利があれば義務があると当たり前と思う。
- ・ 内容は議論が必要だが、権利と義務はセットなので何かしら入れないといけない項目だと思う。
- ・ 「役場が提案して作るものなのに住民に義務を負わすなんて」という声もあるみたいだが・・・。
- ・ 行政に「おんぶにだっこ」だったということを知れば住民が認識したら、自分達でやろうという動きになっていくと思う。「自分達がこうしよう」という目標に義務を置き換えていってはどうか。
- ・ その程度におさえしておくのもいいかも。

#### 全体会 2 1:05 ~

##### グループ 1

- ・ 前のものを振り返ろうと思ったが、とりとめも無い話で雑談に終わった。その中でも若い人をどう参加いただくかが大事だという話だった。青年団も無くなったので...

##### グループ 2

- ・ 前文に話を深めていこうという話となった。日吉津の特徴というものを考えたほうが良いということで、歴史を振り返ったり（合併しないで...）村

の気質（進取の気性）があったり、安全・安心も課題が多いが大事だと思う。環境面では、緑が大事だということ。道路整備、下水道整備は他に先駆けて行なった。教育面にしても色々あるが頼りは充実しているのではないか。（子どものときから歴史を聞かせる機会があっても...）

#### グループ3

- ・グループ2と同じような内容であった。ブランド化から話し、ブランド化するためには、一つのアイデンティティ（ベッドタウン化・アメニティ）という議論をした。そして、何とかチューリップ（プランターでも）を残そうという議論をした。

#### その他

- ・今後の進め方について、参考程度だが話をさせていただく。
- ・前文は、村民の人に目標なりが伝わるといふことで大事。みんなでキーワードを出し合いながら議論していく必要がある。
- ・住民の定義というのがあり、「住民とは」というものが決まっている。住所を有するとか、勤務している人、学ぶ人、事業をしている人などを含めるかどうかということがこれからのテーマ。
- ・住民の権利と義務とか責任がある。当然という意見もあるが、村民から見たら難しいものがあるというような意見もある。入れるかどうかこれから話をしていくテーマとなると思う。
- ・次回以降論点を決めて、話し合う必要があると思う。次回は、中川先生に来ていただくので、中川先生が関わられたまちで「特に悩んだところ...」「抑えるところはここだ...」というようにポイントを絞って話し合っていく予定。
- ・今後、グループの入れ替えも必要と確認しているが、その他みなさんからご意見は無いかな。
- ・当初、策定を来年の3月ということだったがどうか。
- ・委員会以外の若い人に集まっていたらいい話したり、若い親の世代と話したりしたいと考えているが...。3月までには出来ないと思うが、そこまでのある程度のまとめはしておきたいと思う。
- ・プロジェクトと一緒にしたらどうか。
- ・一度は行ないたいと考えている。
- ・たまには全体会も必要だと思うので、今後行なってもらいたい。

#### （事務局）

- ・次回は、12/21（金）19：30～中川アドバイザーをお迎えし開催。最初中川先生に経験をお話いただいて、そのあと再度グループごとに話し合うこととする。

閉会